

交通死亡事故多発中！

～高速道路では全席シートベルトの着用を～

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路において、2015年1月1日から9月17日まで
 に40件の交通死亡事故が発生し、43人の尊い命が失われ、過去5年間で最多となっている状況
 です（図1）。

事故形態別では「自動二輪」、「車外放出」による死亡事故が、昨年より3倍と大幅に増加して
 おります（図2）。また自動二輪による死亡事故は、10・11月に多く発生します（図3）。

運転をされる際にはすべての席でシートベルトを着用し、十分な車間距離をとって安全な速度で
 ご利用いただくとともに、十分な休憩をとっていただくようお願いします。また、自動二輪による
 事故が多発する時期を迎えますので、交通状況・気象状況をしっかり把握して高速道路をご利用
 いただくようお願いします。

1. 交通死亡事故の発生状況

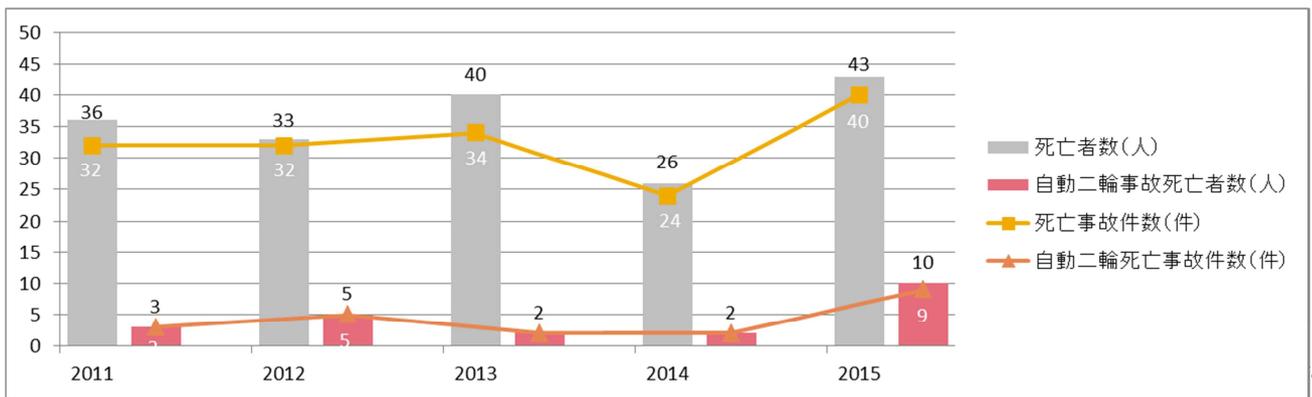


図1 交通死亡事故の経年推移 (中日本高速道路調べ・各年1月1日から9月17日)

2. 交通死亡事故の特徴・傾向

■事故形態別 (2015年)

自動二輪・車外放出が多く、
 昨年の3倍。

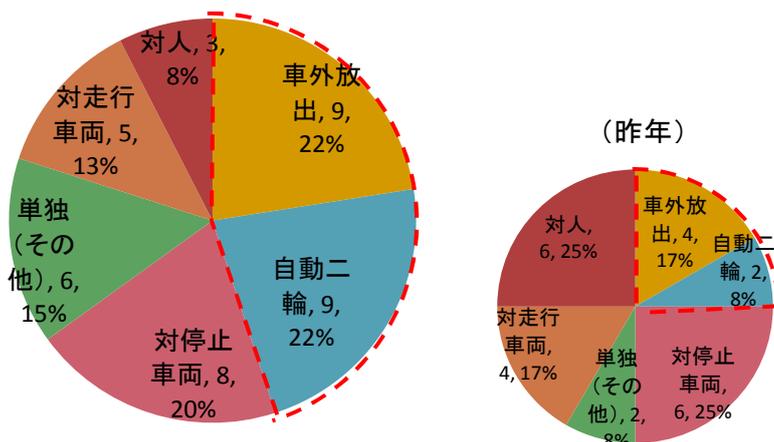


図2 事故形態別死亡事故件数

■自動二輪・月別 (2011～14年)

10・11月に事故が多く、
 全体の約半数。

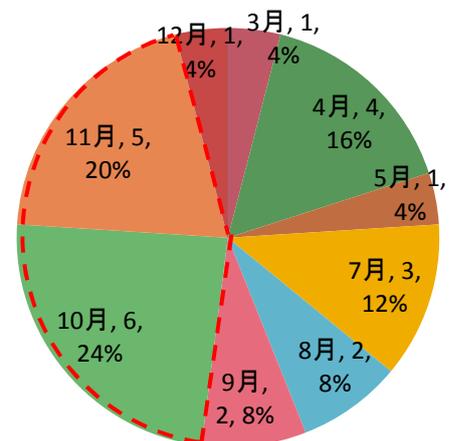


図3 月別死亡事故件数 (自動二輪)